

教材教具名	一日の流れ	教科 (数学)	情報提供者
-------	-------	-----------	-------

教材教具写真

生徒机の上

4mm角材

59cm

8cm

3.6cm

4.5cm

27cm

38cm

3.6cm

1.6cm

天板下にセーロンを付けて
ひもでおすんで固定

上の段
時間割の
絵と文字の
カード
左→右へ順
に並べた

下の段
自分の顔
のカード
左→右へ
移動させる

「おはよう!」

生徒名

顔写真

B4ファイル

筆箱

教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 主に自閉症の児童・生徒に一日の流れと今、自分のすることを知らせる
- 2 発達段階 一日の流れを絵や文字で理解し始めるころ
- 3 使い方

自閉症の児童・生徒に一日の流れを教えたいときに、黒板やホワイトボードの時間割を常に意識させることは難しい場合がある。そこで机の上にボードを置くことにした。児童・生徒の机の大半は上図のように39×59cmである。この机に最も大きな学習プリントを置く場合はB4(または、B4ファイル)が考えられる。B4ファイルや筆箱を置くことが出来るように「一日の流れ」の大きさを考えると上図のように8×59cmの木製ボードが良いと思い作った。

上の段の時間割のカードは、終わるたびに取りさったり、うら返したら良い。また下の段の自分の顔カードは自分かいる時間を明示したり、内容を知らせたりするものである。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

- 「一日の流れ」をアクリルボードにマジックで「はるなと」している場合のように移動式のものは無いので、児童・生徒が少し乱暴に扱ってもこわれないようにした。
- 黒板やホワイトボードの時間割の紙を形に合わせて、机上の紙製の「一日の流れ」にした方がより良かったかもしれない。
- 時間割の絵と文字のカードは30種類程度作ったが、生徒の興味に合わせて、全て並べたり、いくつかを選択して並べると良いと思う。
- 絵のカードは着色を考えたが、かえてごちゃごちゃして部屋が汚くなることもあり、白黒のままが良い。
- 生徒が意識して自ら、自分の絵カードを動かして、おちつく場面が生まれた。